

第7章 上越線(後閑～越後湯沢)

第1節 概要

2023年8月21日(月)からの3泊4日の旅、真夏のウォーキングの中、小雨にも出会い、当初の予定の「越後湯沢駅～苗場～猿ヶ京～上毛高原駅～後閑駅」を踏破することができる。上越線の「土樽駅から土合駅までの営業キロ 10.8 km」は谷川岳などの地理的な環境から鉄道つたい歩きはできず、この迂回ルートの歩きをもって、土樽＝土合館の歩きは達成したと解釈させて頂く。なお、地図や上越新幹線の越後湯沢駅から上毛高原駅までの営業キロ 47.6 kmを勘案し、カッシーの営業キロ統計は 50 kmと定義。

これで通算営業キロは **1万4千969 km(活動日数740日、日本の鉄道の54.0%、地球円周の37.4%)**となり、直近の目標の1万5千キロまで **31 km**に迫る。

今回の旅は、鉄道つたい歩きの旅ではなく、上越線から大きく迂回した三国街道(国道17号線)を軸とする歩きだったので、種々の面で神経を費やすことを余儀なくされた。安全面を重視し、宿を上手く選定しプランニングしたのが功を奏した。また、ネットなどを通じて事前勉強したのも。

今回の特筆すべき事項は次の通り。

①初めて宿泊した苗場プリンスホテル、猿ヶ京温泉「湯豆(ゆず)のやど本伝」は快適であった。



※苗場プリンスホテル(バイキング)、湯豆のやど本伝での夕食

②温泉三昧の旅となった。



※苗場プリンスホテル、本伝

③沿線いたるところでスキー場があった。



④永井宿郷土館に立ち寄ることができた。



⑤小雨と出会い、またトンネル・洞門が多かったので涼しい環境で歩くことができた。



※本伝界隈の赤谷湖



※苗場プリンスホテルへの路

⑥旅行計画が功を奏し、ホテルには早めに到着(14時より少し前)することができた。

⑦路に迷うことなく今回の旅は終わった。



※苗場プリンスホテルへの路



※後閑駅

⑧初のグリーン車での祝杯は最高であった。



第2節 旅プラン

上越線の仕上げ旅(営業キロ 50.0 km)

○2023年8月21日(月) 晴れ

とき 325号 大宮 15:05 → 越後湯沢 15:56

越後湯沢 ホテルやなぎ 025-785-5570



○8月22日(火) 晴れ

越後湯沢駅～伊米神社～二居峠～火打峠～苗場～ホテル(20.0kmと定義)

苗場プリンスホテル 025-789-2211



○8月23日(水) 小雨／曇り

ホテル～苗場～三国～三国峠～法師～永井宿～猿ヶ京～ホテル(15.0kmと定義)

湯豆のやど本伝 0278-66-0321



○8月24日(木) 小雨／晴れ

ホテル～赤岩～湯宿～上毛高原駅～後閑駅(15.0 kmと定義)

後閑 14:33 → 高崎 15:24

高崎 15:55 → 赤羽 17:33

<参考>

土合～土樽:10.8 km

上毛高原～越後湯沢:47.6 km

第3節 初日:8月21日(月):越後湯沢への移動 晴れ

2023年8月21日(月)晴れ、上越線仕上げ旅の初日は、明日以降の歩きを容易にするため、上越線仕上げ旅のスタートとなる越後湯沢駅までの移動のみとする。この駅に夕方まで到着すればよいので、余裕をもって自宅を出発ができる。ラッキーにも高校野球の準決勝の第1試合(仙台育英対神村学園)を観戦できる。とは言え、旅には何が起こるかも知れないので、余裕をもって臨む。大宮駅には新幹線出発時刻(15時5分)の1時間半位前に到着。駅構内の立ち食い蕎麦屋で昼食をとった後、1時間半位の待ち時間を活用し、今朝発信したSNSやSMSの返信を見、適宜返信させて頂く。各位から「真夏のウォーキングなので用心して」と「激励」のメッセージを多数頂く。あっという間に待ち時間を消化できる。



※新宿駅、大宮駅



※越後湯沢駅

越後湯沢駅には15時56分到着。駅構内の売店で五平餅が目についたので早速賞味させて頂く。そして、本年5月末にお世話になった「ホテルやなぎ」にお邪魔する。

このホテルも見るや否や親しみと懐かしさを感じる。3カ月前にお世話になった係りの方が居られ、私の顔を見るや否や挨拶を頂き感無量となる。ホテルで汗を流した後、小休止し、駅構内に再度向かう。



※ホテルやなぎ、ホテルからの越後湯沢駅

日本酒飲み比べの店”唎酒番所”で北雪や謙信など5種類(1銘柄100円より)の酒を賞味させて頂く。その後、この前もお邪魔した維新ラーメン店で、懐かしく忘れられないスープのつけ麺を頂く。そして、物産店でどぶろくとつまみを購入して、ささやかながら明日からの歩きの前祝をし、就寝となる。





※利酒番所



※美味いつけ麺



※どぶろくを堪能

第4節 2日目:8月22日(火):越後湯沢～苗場プリンスホテル 晴れ

2023年8月22日(火)晴れ、上越線仕上げ旅の二日目は、越後湯沢駅から苗場プリンスホテルまでの推定20kmに挑戦する。ホテルで6時半より朝食をとり、7時過ぎチェックアウト。越後湯沢駅の構内を経由し、進行方向に対し右側(県道694号線)となり、7時13分苗場プリンスホテルを目指しスタート。



※いざスタート、越後湯沢駅

①くねくねした坂道を上る。7時30分、高台から朝スタートした越後湯沢の街並みが見えて来る。7時33分、NASPA スキーガーデン前を通過。三国街道(国道17号線)下を潜る。7時53分、国道17号線に出る。国道17号線に出るや否な水上高崎方面が、自分と思った方向と反対にあり驚く。この疑問を苗場プリンスホテルまで考えながら歩く。ホテルに到着し、地図を精査したところ「国道17号線を潜った関係で起きた」と納得できほっとする。



※国道17号線への道



※遠くに越後湯沢、NASPA スキーガーデン



※前方国道 17 号線、国道 17 号線すぐ

②8 時 18 分、芝原バス停(南越後観光バス)前を通過。8 時 31 分より、芝原トンネル(万歩計で 1,318 歩)を通過する。8 時 45 分、今歩いている境界は”上信越高原国立公園とあった。8 時 55 分、八木沢口を通過。8 時 59 分より、365 歩ある八木沢トンネルを通過する。9 時 5 分、道の駅”みつまた”に立ち寄る。これまでの道のり、水分補給したくても自動販売機がなく喉がからからになりかけていた。この道の駅で水分補給ができると同時にアイス購入でき生き返る。5 分位小休止しスタート。



※国道 17 号線を歩く、芝原トンネルを通過



※上信越高原国立公園



※八木沢トンネル



道の駅”みたまた”

③9時20分、かぐら・みつまたスキー場前を通過。その先に、苗場プリンスホテル方面に向かう三俣中央バスがあった。9時26分、高崎94km、沼田51kmと記した道路標識があった。近くにかぐら三俣スキー場バス停があった。9時30分現在の温度は27℃とある。9時41分より全長851mある三俣トンネルを通過する。このトンネルは工事中ため、車は片側通行となっていた。お陰様で大手を振って歩道を歩くことができる。このトンネルを出ると356歩ある第2トンネルが続いていた。



※かぐら三俣スキー場前

④10時8分、貝掛温泉のバス停があった。この界限で草刈りをしていた。10時25分、51.5mある新境橋を渡る。10時36分より351あるトンネルを通過する。10時41分より、全長1,295mある二居トンネルを通過する。11時13分より、全長190mある二居大橋を渡る。11時18分、苗場スキー場まで6kmとある道路標識前を通過。





※貝掛温泉界限



※二居大橋

⑤東京 190 km (湯沢町) の道路標識前にやまどり原バス停 (11 時 53 分) があつた。11 時 55 分、苗場 2.7 km と記した標識前を通過。「あと 1 時間位歩くと、苗場プリンスホテルに到着するだろう」と目標設定ができる。



※やまどり原バス停

⑥12時2分、高崎84km、沼田41kmと記した道路標識前を通過。12時12分、平標登山口前を通過。12時14分、苗場ふれあいの郷前を通過。



※高崎 84 km、沼田 41 km

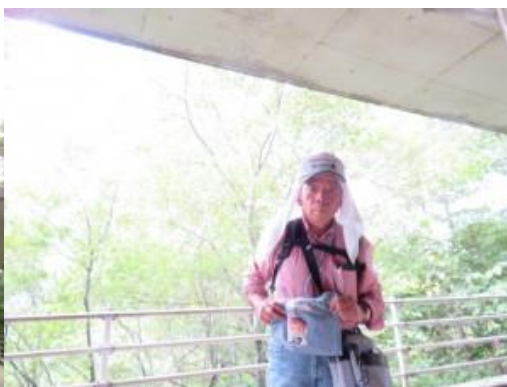


※平標登山口、苗場ふれあいの郷

⑦12時16分、標高983mと記した火打峠があった。12時20分より火打8号雪覆道(815歩)を通過。12時31分より6号雪覆道(175歩)を通過。12時35分より外側に歩道がある6号雪覆道を通過する。12時41分からは洞門内を歩く道筋となる。これらの洞門の隙間から、時々遠くに苗場プリンスホテルが見えて来る。



※火打峠



※洞門を歩く



※遠くに苗場プリンスホテル

⑧これらの洞門を過ぎると苗場プリンスホテルが見えて来る。12時53分、白樺口バス停前に到着。13時20分、苗場プリンスホテルに到着。



※苗場プリンスホテル

⑨不安一杯の一日であったが、無事、スキー場に面した苗場プリンスホテルに予定より早く到着できほっとする。同時に 3000 人位収容できる近代的広大なビル構造に驚く。窓口の担当者によると、今はシーズンオフのため来客は少ないが、12 月からスキーシーズンになるのでホテル確保は大変とのことであった。チェックインし部屋でゆっくり寛いだ後、15 時より温泉で汗を流す。18 時よりビールと日本酒を頂きながら夕食(バイキング形式)を楽しむ。そして就寝となる。充実した一日であった。



※ホテル内



※2 号館 8 階からの展望

